

つばめ会会報

“Slope”

#37



目次

3	会長の言葉	浅野 (12 期)
4	幹事長の言葉	大嶋 (31 期)
5	新部長の言葉	村上 (37 期)
6	ヘッドコーチの言葉	戸上 (35 期)
7	2015 年度のコーチの言葉	古林 (34 期)
	インカレミドル・リレー入賞に寄せて	
8	リレー 1 走	芳賀 (36 期)
9	リレー 2 走	西村 (36 期)
10	ME・リレー 3 走	戸上 (35 期)
11	インカレ観戦記	坪居 (24 期)
17	お知らせ・編集後記	

会長のことば

浅野 昭 (12期)

先号の発行から間もないですが、スロープをお届けいたします。

今号の原稿の中でも、詳しい報告があると思いますが、2015年度春インカレにおいて、OLT&つばめ会が選手&役員として大活躍いたしました。わたしも7年ぶりに、現地で観戦しましたが、本当に素晴らしいものを見させていただきました。選手、コーチ、役員、その他OBのみなさんに感謝することしきりです。本当にありがとうございました。

そして、今から5ヶ月後には、2016年度の秋インカレがやってきます。トレーニングや運営準備等は、時には辛く感じることもあるでしょうが、思い描く夢の実現に向けて頑張ってもらいたいと思います。そして、つばめ会はそのような人たちを応援するための活動をしていきたいと思っております。

みなさまには、今後とも変わらぬご支援を頂きますようよろしくお願いいたします。

幹事長の言葉

大嶋 拓実 (31期)

皆さま、お世話になっております。

新幹事長を務めさせていただきます、31期の大嶋です。

先日の春インカレではミドルで戸上君が2位賞、リレーでは2年ぶりに団体入賞を果たすなど、
変わらぬ活躍を見せてくれています。

私も運営者としてインカレには参加しておりましたが、母校が活躍してくれるのはとても嬉しかったです。

今後もインカレロング等の大会が控えておりますので、皆様の継続的なご支援を宜しくお願い致します。

また会員にとっても有意義な組織となるよう、会運営を進めていきたいと思っておりますので、

ご協力のほどよろしくお願い致します。

新部長の言葉

村上 遼太 (37期)

こんにちは、今年度 OLT 部長を務める村上遼太と申します。僕はオリエンが得意というわけでもないため、みんなを引っばっていけるか緊張しています。また運営期である 37 期もいまだエリート経験者が出ていないので今年は 37 期自体でも頑張っていきたいです。今年の新入生は 10 人を超え、その中に女子部員が 1 名入部しました。38 期と新歓を頑張った成果が出てうれしく思います。

今年の OLT の目標としては、インカレリレーで入賞・併設リレーで 10 位以内です。エースであった戸上さんは抜けてしまいましたが、入賞経験者が 2 人残っており、2 連続入賞という悲願を達成することを目標に頑張っていきます。1 年生には座学を教えることで酔利基礎的なところからオリエンテーリングについて学んでもらえるようにします。水曜練もより学外に出るように取り組んでいくつもりです。

今年はコーチを 35 期のほかに長坂さん、佐藤さん、山本さんをお願いしました。社会人の方も多いですが、チーム制を復活させより密にトレーニングに励んでいきます。また早稲田と合同の合宿など他大との連携も強化していきます。例年学生オリエンテーリングのレベルが上がっていく中、東工大も負けられないように一生懸命やっていくので、OB の方々からもご援助のほどをよろしくお願いします。多くの誇れる記録を残していけるよう OLT として頑張っていります。またそのような結果を出せるよう丸となれるチーム作りのできる部長を目指していきます。どうぞよろしくお願いします。

ヘッドコーチの言葉

35期 戸上

今年度のヘッドコーチを務めさせていただくことになりました 35 期の戸上直哉と申します。よろしくお願
いいたします。

つい数ヶ月前までは現役としてオリエンテーリングに取り組んでいたのが嘘のようです。学生時代はオリ
エンテーリングにどっぷり浸かり込んでおり、近場の大会はもちろん遠征にも積極的に参加し、世界大学選手権
にまで出場させていただきました。今更ですが、当時はつばめ会の皆様にご助力いただいたことをこの場を借
りて御礼申し上げます。

さて、オリエンテーリングには引き続き競技者として関わっていくつもりですが、お世話になった東工大
OLT への恩返しとしてヘッドコーチを引き受けさせていただきました。と言いましても、半ば強引に立候補
したようなものですが。

人にオリエンテーリングを教えることはあまり得意ではありませんが、現役が少しでもオリエンテーリング
が好きになってより積極的に取り組んでもらえたらと思います。

今年度のコーチとしての目標は「オリエンテーリングの基本技術を身に付けてもらい、楽しんでもらうこと
によって積極的な参加を促し、競技力向上につなげる」です。好きこそ物の上手なれとありますように、競技力
向上のためにもまずはオリエンテーリングを好きになってもらえたらと思います。オリエンテーリングを好き
になるには、楽しさを知ってもらうことが大切で、楽しむためには基本技術を身に付けることが一つのアプロ
ーチだと考えます。

早速ですが、基本技術の習得を目的として、先日 5/21(土)に基本技術講習会第一弾を行いました。新入生
向けの関東学連ペア O が翌日に控えていたこともあって、正置をテーマにして講習を行い、学内 O も実施し
ました。まだまだ改善の余地はありますが、今後も積極的に講習会や練習会を開催していこうと考えています。

6/19(日)には日光所野にてロングセレ対策の練習会を行いますので、つばめ会の皆様にも奮ってご参加いた
だけたらと思います。

また、現役のモチベーションを刺激するためにも、9/18(日)の駒ヶ根高原での 7 人リレーにつばめ会でチ
ームを出しませんか。

そして、翌週の 9/25(日)には第 28 回東工大 OLT 杯を開催する予定ですのでこちらも是非ともご参加くだ
さい。

練習会や大会のお誘いをつばめ会 ML で流すことがあると思うので反応いただければ嬉しいです。

話は逸れましたが、以上をもってヘッドコーチの言葉とさせていただきます。

お久しぶりです。私自身のめんどくさがりの性格のせいで、OBの皆さんにその都度の現役部員の状況などを知らせることが出来ず、申し訳ありませんでした。

昨年度の12月からの報告です。10月以降からは練習会へと、大会へと参加し、教え、一緒になって反省しとOLT部員に対してようやくコーチらしく仕事が出来ていたと思います。やっと38期のメンバーに顔をしっかりと覚えてもらえたのではないのでしょうか……遅い。

さて、ミドルセレは栃木県矢板市の番匠峰古墳で行われました。OLTのセレ通過者はエースの戸上(35期)……のみとなってしまいました。西村(36期)は実力こそ十分だったものの、ミスを重ねてしまい、芳賀(36期)も通過を狙える選手でありましたが、不通過となってしまい、インカレミドルの本選は戸上一人となってしまいました。私の指導不足が原因だとしたら……申し訳ないです。

その後、二度の合宿で成長を遂げ、OLT部員はインカレミドル・リレーの地、矢板市へと向かいました。(直前合宿も矢板でしたが)

そして結果についてですが、メーリスでも流れていた通りです。坪居さんがきっと詳細な記事を書いてくれるはず……なので、簡単に結果を報告します。

ミドルでは、選手権で戸上がトップとまさかの2秒差での、しかし最後にして初の入賞となる2位となりました。私はゴールのときに、選手権待機所にいたので現地にはいなく、当時の、おそらくですが、どっちが勝ったのだろうというワクワクが入り混じった不思議な雰囲気があったようで、そこに居たかったなあと思いました。(まあ、私のサポートのおかげで、戸上が入賞へのプレッシャーを克服出来たと思えば……えっ、戸上自身の力で勝手に入賞出来たって？ そうですね……)ほかに、一般では西村がMUA2で2位、砂原(36期)がMUBで1位となりました。入賞に近かった選手も多く、選手権リレーに出場した芳賀もMUA3で4位となりました。一年生(38期)もMUFクラスで大久保と上野が一桁順位となりました。

次に翌日の選手権リレー。結果はご存知6位入賞。その前年の私が主に足を引っ張って入賞を逃してから一年で、すぐに入賞を取り返してくれました。感想は各選手からのコメントを見てもらった方がよいでしょう。3人ともよく走ってくれたと思います。私も正直、入賞に手が届くとは思いませんでしたので、びっくりしました……コーチとしてそれはどうなんだいと。実力もさることながら、気持ちの強さが出た結果かなと感じました。

昨年度の一年間、チーフコーチとしてOLTを支えましたが、正直、私がコーチになったらやろうと思っていたことの大体が出来てなかったなあというのが実感です。これは申し訳なく思いましたが、部員の成長と共にあれたことでとてもいい経験をさせてもらえました。

OBの皆さん、応援ありがとうございました。今後も年々新しいメンバーがOLTに入ってくることでしょうが、応援していきましょう。私も、そうしようと思います。

インカレリレーを走って

36期 芳賀

インカレリレー1走を走りました、36期の芳賀です。

2015年度はケガに悩まされ続けた1年間でした。

今年度のケガを挙げるときりがありませんが、その中でも一番やばかったのは11月の留年練習会でしてしまっただけです。半年ほど運動が思うようにできませんでした。

インカレでも怪我をした状態での出走となってしまったのですが、地図読みと気合いでなんとかしようと思い頑張りました。

さて、インカレ本番では前日の個人戦では僕はセレクション落ちしてしまったので一般併設クラスでの出走でした。正直、次の日のリレーに緊張しすぎてあまり集中できていませんでした。リレーでは、第一中間の前に隣ボをたたきわりと早い段階で集団から離されてしまいました。隣ボをとったときはものすごい焦りましたが、そこからは一人で少し巡航を落としてミスらないようにオリエンテーリングをしました。入賞圏内から5分ほど離されてしまい、ゴール後はああ、やってしまったなあとてもつらかったのですが、2走の西村が順位を上げて戸上さんが逆転して6位入賞したのでとてもうれしかったです。

今回のインカレでは、リレーでは目標であった入賞できたことはとてもうれしかったのですが、自分の走りはあまり良いものではなかったし、個人のミドルではエリートを走れなかったことがとても悔しかったです。今年はずいぶん最終学年になってしまいました。次のロングセレでは絶対にエリートになれるように頑張りたいです。またリレーも今年も走り入賞したいです。

インカレ感想

36期 西村 駿

今回の春インカレは OLT のいろんな人が結果を出したいいインカレだったと思います。選手権では戸上さんが入賞して、一般のほうでも、自分が経験したインカレの中でも上の方の順位に入る人が多かったインカレでした。団体戦は昨年につき走らせてもらい、昨年の悔しさを晴らすような 6 位入賞ができてよかったです。

今回のミドルリレーに対しては、去年のリレーで結果がだせなかったことがあり、リベンジしたいという気持ちを持っていました。ところが、ミドルセレで選手権落ちして、過信していたことに気付かされました。このままだと昨年と同じような走りしかできないだろうと考えていました。インカレで今回のような走りが出たのは冬合宿、直前合宿で蔵田さんが来てくれたことが大きいと思います。学生だとあまりしていないような意識の仕方、走り方をしていて、自分がどれだけ雑なオリエンをしているか気付かされました。タイム的にもミスが減らすオリエンができれば、勝負できることも個人的にはいい目標になりました。自分たちだけでは気付けないことを、経験のある OB さんに気付かせてもらうことは多いと思いました。本当にありがとうございました。

本番のレースに関しては、追いつける必要があるような展開でしたが、序盤は落ち着いていい感じに進めていくことができました。後半にかけて集中力が落ちてきて丁寧なオリエンができなく、ミスを重ねてしまいましたがそれなりにまとめることはできたレースだったと思います。教えられたことが完璧には実践できたわけではないのですが、終わりよければすべてよしという締めくくりはできたと思います。

いまの OLT は有望な後輩も多くなってきたのでこれからの活躍を期待しててください。

2015 年度インカレミドル・リレー結果報告

35 期 戸上

35 期の戸上です。

昨年度、栃木県塩谷町の塩谷熊ノ木(旧☆多しおや)でインカレミドル・リレーの結果を報告いたします。

まずは、インカレミドルについてです。

昨年度より B-final が廃止されてエリートクラスは M/WE のみとなり、一般 A クラス出走者数が増加することが見込まれ、ミドルセレ通過者の 150%以上のタイムの競技者は一般 B クラスへの出場が推奨されました。今回、東工大 OLT は ME に 1 人、MUA に 12 人、MUB に 5 人、MUF に 10 人出場しました。

ME では私戸上(当時 4 年目)が 2 位入賞、MUA2 では西村(3)が 2 位入賞、MUB1 では砂原(3)が優勝を果たしました。インカレでの 2 位入賞は 1995 年のインカレショートの世界古口さん(16 期)以来だということで、このような結果を残せたことを嬉しく思います。

また、入賞までは至らなかったものの複数の部員が一桁順位を獲得しました。新人における最優秀成績は MUF2 に出場した大久保の 5 位、MUF1 の上野の 7 位が続きます。部員それぞれが目標を持って取り組めたと思われまます。

続いて、インカレリレーについてです。

MER1 チーム、MUR8 チームが出場しました。

MER のメンバーは一歩芳賀(3)、二歩西村、三歩戸上です。インカレミドルエリートをリレーメンバーに起用している大学が多い中健闘し、6 位入賞を果たしました。

混戦の中、芳賀が 15 位で堅実に帰還し、西村が 8 人抜き猛攻を見せて、7 位でバトンを渡してきたため、落ち着いて走ることが出来ました。私の出走時点で入賞圏内との差は 3 分差であり、十分に逆転可能な状況でした。走順が進むごとに順位を着実に上げていく理想的な展開に持ち込めたからこそつかむことが出来たのではないかと思います。

リレーでの東工大の入賞は二年ぶり 6 回目で、今年度のリレーで入賞すれば、東工大史上初の二年連続入賞となるので、是非とも目標として欲しいです。

一般クラスでの最高順位は 21 位で、新入生のみで組まれたチームは次いで 32 位と今後期待の出来る結果となっております。

最後に、年々競技者人口が持ち直しており、インカレの参加者が増え、競技レベルが上がっているように感じられますが、今後も東工大 OLT が活躍し続けることを願っております。

xx 歳(まだ 35A には出れない)になっても相変わらずオリエンを続けているので、今年も矢板インカレミドル&リレー@☆多しおや Remake に行ってきました。既にご存知の通り、ミドルでは戸上(4年)が歴代最高タイとなる2位入賞、リレーにて ME クラスは2年ぶり5回目の6位入賞を果たしました。

僕はいつものようにミドル・リレーとも併設大会を走ってきました。せっかくなので、インカレの観戦記でも書いてみようと思います。

※学年表記は全てインカレ当時のものです。つまり4年=35期。

・ミドルを走るまで

毎年のことながらミドルの日の朝は異常に早い。というわけで今年は金曜のうちに宇都宮まで行って宿泊。これでも諸々(じゃ○んから捻じ込まれた期間限定ポイントとか高速代とか)を考えると金銭的には同じくらいだったりする。なのに宇都宮出発が7時というのがえぐい。

・ミドル～自分のレースと併設～

いつも通りクラスは OAL。MUL と距離・アップともにだいたい一緒だったので、はいはい MUL の平行コースねと思って1ポから適当に学生について行ったら30分吹っ飛んだ。俺は果たして何年オリエンやっていたんだろうか…。それがなかったら普通に菊澤さん(22期)に勝っていたのに。後で地図を見たら MUL と全然回しが違った。柴本(28期、競技責任者)にハメられた…。

というわけであまりにも酷い結果で終了。会場に帰ると、現役のみんなは結構いい成績のようだ。MUA は西村(3年)が2位、芳賀(3年)が4位、小野(2年)が7位、MUB は砂原(3年)が1位、MUF は大久保が5位、上野が7位。男性のほぼ全クラスに1ケタ順位がいる。正直インカレ併設は毎年酷い成績のようなイメージがあるから今年は正直ほっとした。

・ミドル～選手権の応援～

今年のミドルの選手権は戸上だけ。しかもラストスタートなので途中ははっきり言って暇。とはいえ他大の選手をいろいろ見て、入賞経験者たちの意外な苦戦を見たりした。OLT の他大の選手への興味のなさを見てちょっと不安になりつつ、いよいよ戸上がスタート。ラストスタートで、周りに入賞できそうな選手はいないので、恐らく戸上のゴールでインカレミドルのハイライトは終了だろう。

が、戸上はこれまでインカレ個人戦の成績はいまいちだったりする。何せ最高順位は11位。普段の大会だとインカレ入賞レベルは十分あるのだが…。

ところが、そんな不安を払拭するいい走りを見せる。第一中間は3位、第二中間は2位。どちらもトップの小林君(東北)は第二中間後に大きくミスをしてゴール時には入賞圏外まで落ちていったので、第二中間時点で実質1位。しかも暫定トップの福井君(東大)との差は38秒。運営で実況担当の佐藤(34期)も微妙に戸上のことを鼻息しつつ色々アナウンスをしてくる。

これは…これは…もしかして…もしかするの??? ついに東工大が個人戦優勝を果たす時がやってくるのか?

だが、そのあとなかなかアナウンスが来ない。そろそろやばいといったところでちょうど最終ラジコン通過のアナウンスが。必死に走ってゴールするが会場のザワザワが止まらない。

そして…

「戸上直哉選手、37分…34秒、第2位のタイムです！福井選手に2秒及ばずです！」

「ああーっ！」

崩れ落ちる戸上。そこに運営の大嶋(31期、ミドル3位の経験あり)が肩をたたく。

こうしてインカレミドルは終わった。わずか2秒の差は、未だ東工大が辿り着けない高い壁となった。



それでも、世古口さん(16期)と並んで東工大歴代最高順位タイとなる2位。素晴らしい成績というほかに、そして、僕が入学して一度も感じたことのなかった、「最後の最後まで優勝の可能性を感じながらドキドキする」という感覚を味わうことができた。

そして、確か2011年3月のインカレの時だったと思うが、当時3年のやまたけ(32期)がこんなことを言っていた。「今年は山岳部インターハイ優勝の凄いやつがOLTに入ってきますよ。もう勧誘も済ませてありますから」…確かに凄いやつだった。ありがとう戸上。

※ここから余談

- ・戸上はよりによってラスポゴールで福井君にまくられたらしい。
- ・戸上は第二中間後に40秒のミスをしているが、後日同じコースを走れるイベントがあって俺が走って見たら同じレグで20分ミスをした。小林君が討ち取られたのもこのレグ。
- ・この日のTwitterは「福井君おめでとう」ではなく「戸上惜しかったね」が圧倒的に多かった。OLTだけでなく他大の人も含めて。ちょっと福井君がかわいそう。
- ・この日来ていたOBはコーチ3人を含む8人。あと運営側に7人。運営のOLT率がやばい。

・ミドル～夜～

去年のインカレの時は僕が取りまとめをして、おかげさまでたくさんの方が観戦に来てくれた。で、とりえず食事でもと思って焼肉屋をセレクトしたのがまずかった。そこにあるのは飲み放題のボード。となれば当然…というわけで大魔王い〇うえとかやま〇けとか(あと俺の同期とか)のせいで飲み会がものすごくカオスになった。ホテルの人に怒られるレベル。まあ俺も併設リレーセレ(酒)とかやってたからな。

とはいえ、焼肉屋という選択自体は間違っていないし、今年は大魔王たちは運営だからいない。というわけで33期5人と合流して今年も焼肉屋。当然のようにある飲み放題で楽しく飲んでた。いい気分になってホテルに戻って2次会…の前になぜか根岸(34期/非コーチ)は矢板から宇都宮に行ってネットカフェに泊まるらしい。というわけで根岸とはここでお別れ。コンビニでお酒を買ってホテル内でまったりと2次会開始。…と、楽しく飲んでた時にtwitter上で事件が。

ねぎし@kuso-negi (※アカウント名は仮のものです)

22:04 矢板発宇都宮行最終電車自摸

22:13 後夜祭いかない OLT 部員は帰りによっていってってあああああああ

22:13 ツイートしてたら終電逃しました

22:28 うーん逆正置で矢板市役所到着

22:39 つばめ会————だれか————

全員大爆笑。いやあ面白かった。それ以外に関しては今年は平和でした。

・リレー～…の前に～

さて次はリレー…の前に、まずはインカレリレーの前哨戦である山リハリレーの結果を整理した。

その結果によると、東京-横国-東北-京都-名古屋-早稲田-新潟-筑波-金沢-一橋-慶應-東工…

というわけでなんと 12 位。特に 3 人目の芳賀の成績が芳しくなく、山リハリレーだけ見るとかなり不安の残る内容だった。去年のインカレリレーの成績も 11 位と悪かったし。

そして、お手伝いとして参加した直前合宿にて走順が決定したわけだが、古林ヘッドコーチの走順第一案である西村-戸上-芳賀が発表されたとき、芳賀から聞いたその時の感想としては「目の前が真っ暗になった」というもので、リレーメンバー 3 人全員から反対されるという中々面白い…じゃなくて大変そうな事態になっていた。もっとも、もし俺が古林と同じ立場なら古林と同じ走順にするのが良さそう、とっていたけど。

…というわけで走順が芳賀-西村-戸上に最終決定したが、ミドルのゴールでたまたま西村と一緒に調子とかについて聞いてみたら、本人の性格に似合わず「この内容でこの順位なら猪俣君(東大、リレー ME の個人ベストタイム!)を破って MUA 優勝も狙えた」なんていう発言が飛び出したというわけで相当調子が良さそう。芳賀も MUA で 4 位だったし、12 位なんていう予想はしたけれどももっといい成績になるんじゃないかという予感は少しだけしていた。

・リレー～同期チームのレース～

併設リレーは今年も同期チームを出すことができた。とはいっても今年は少しかだけ違って、同期のうち片方は、OLT を 1 年の時に退部→トレラン系の道へ→ナビゲーション能力を鍛えるべく 1x 年ぶりにオリエン会場へ、という珍しい経歴だったりする。去年のクラブカップ@松本の時に 1x 年ぶりに再会して、その後また会った時に誘って今回の同期チームが実現した。というわけで写真はこちら。ついでに OB の集合写真も。

(一部写っていない人がいます)



…これはひどい。何がひどいって同期の写真の服装のバラバラっぷりが。

さて、自分のレース開始。1走には奥田さんがいるけど、まあ負けないはず。…足が重い。絶対昨日の酒のせいだ。奥田さんが目の前にいるのに抜けない。で、ラスポで奥田さんと一緒にミスった挙句、ラスポゴールで抜きました。いやあ危なかった。というわけで2走にタッチ。2走はトレラン上がりなので足は早いナビゲーション能力に不安が…といったら案の定大ツボりしているらしく帰ってこない。結局俺の2倍のタイムだった。お疲れ様です。ちなみに3走の私服野郎には何とか勝ちました。

・リレー～選手権の応援～

※一部結果から見た想像です。ご了承ください。

さて、今年のリレーメンバーは前述のとおり芳賀-西村-戸上。

メンバーの実力的には一番危ないのは芳賀。1走を無事にこなしてくれれば…といったところ。注目の第一中間は…あっ、微妙に(15秒くらい)集団から離れているが大丈夫か!? 最終的にトップと8分差、ライバル校と5分差くらいの15位でゴール。良いとは言えないがまだまだ可能性があるといった感じのタイム。

そして2走西村。第一中間までは素晴らしいタイム。戸上が「西村相当早くないか?これは後半ミスるんじゃないか?」なんていう軽口をたたくくらいだった。そして西村は案の定後半ミスったものかなりいいタイムで帰って来る。他大の同レベルの選手と比較して2-3分程度早い。どうやら今は9位らしいので実に6人抜き。しかし…

俺はこの辺で同期の応援に行って会場アナウンスを聞いていなかったが、どうやら戸上が第一中間を通過したあたりらしい。そこでたまたまいた徳増(コーチ)に今どうなっているの?と聞いたらとんでもない答えが。「2走終了時点で3分前にいる筑波を抜けば入賞です」

「…は?なにそれ?入賞できるじゃん」 思わず間の抜けた酷い返答をしてしまった。

聞けば強敵の金沢と早稲田がともに2走ペナだと言う。そして他に危なそうな慶應・一橋・名古屋はすべて2走終了時点で東工大の後ろ。3走が戸上である以上東工大が抜かれることはあり得ない。3走がシードの横浜市立は遙か後ろ。唯一危ないのは筑波だが3走の田中君と戸上なら恐らく3-5分差くらいはつけられるはず。前5校(東大・京都・東北・横浜国立・新潟)にはもう勝てないので、筑波を抜いて6位が非常に現実的になってきた。

従って、ライバル校のペナにも助けられたとはいえ西村は15位→7位まで順位を上げたので8人抜き。素晴らしい仕事してくれた。

あとはまさに儀式だった。戸上は当然のように全走者中4位のタイムを叩き出し、当然のように筑波(と金沢と早稲田)を抜いてくる。そして。



2走西村ビジュアル通過で気合が凄く入っている戸上。
そしてレース後の佐藤のインタビュー。
入賞確定の瞬間泣き崩れる西村。
いいものを見させてもらった。
東工大 6 位入賞。みんな、おめでとう。

※ここから余談

- ・今年のインカレリレーはペナ多発でした。男子は 4 校、女子は実に 7 校。(棄権除く：推定)
しかも女子のうち 3 校が入賞ラインより上。いったい何があったんだろうか。
- ・女子のリレーは超大荒れ。何と去年と今年で連続入賞しているのが 1 校(椋山)だけ。
しかも優勝した東北大は 2 走の未経験 1 年生がシードと同レベルのタイムを叩き出し、2 走だけで他大学に 10~20 分差をつけるというとんでもない結果だった。
- ・最近表彰式での撮影タイムが無くなったので、インカレ表彰式はおとなしくなった。
でも OLT は今年も入賞者を花束で殴っていた。
- ・男子は非東大の上位 3 人よりも東大のほうが早いという東大の圧勝劇だった。しかも併設の MUR も 1~3 位を東大が独占。選手権 3 連覇と合わせて東大の黄金期を感じた。
- ・2 月頭の時点で男子リレーの走者の予想をしていたが結構当たっていた。全大学で 2 人以上当てているし、完全的中(走順含む)も確か 5 校くらい。俺凄い。まあ肝心の東工大の順位予想を大外しているけど。

・リレー～オフィシャルレース～

3年前から、リレーの日のレースが終わった後は、お楽しみレースとしてオフィシャルレースが開催されている。これは、ミドル・リレーともに走る機会のない各大学オフィシャル向けの軽いレースであるが、要はオフィシャルのパレードのようなものなので、毎年カオスな流れになる。

・オフィシャル先のトリムを着るのが一般的なので、お茶の水女子とか津田塾とかのオフィシャルをする東大OB（当然男性）はもちろん女子大のトリムを着る。これは恥ずかしい。

・実況がカオス。ミドル・リレーの真面目な実況と違って、「足だけは早い○○選手」とか言っちゃったりする。

・コースがカオス。去年はそうでもなかったが今年は謎のビジュアル2回通過。レースはたったの2kmとかしかないのだが。

・応援がカオス。今年は選手のすぐ近くで応援できたっていうのもあって、罵言雑言が飛び交う…って言うほど酷くはないがネタ応援ばかりである。東大に至っては何か変な液体を選手にかけていた。

・小ネタがカオス。地図が大会ロゴ付きの特製バージョン。コースはなぜかパターンが振ってあり、ペナったら罰としてインタビュー。ちなみになぜか地図取り違いが発生していました。

・でもメンバーは超豪華。全日本ロングME出場経験者が多数いる。無駄遣いもいいところだ。

・うちからは古林が出演。お疲れ様です。

凄く楽しそうでした。うちも確か去年は長坂を胴上げしていたな。俺がオフィシャルをやっていた時に開催してほしかった…。

※最後の余談

・インカレ終了後に OLT の皆で実行委員長の池田純也君（一橋）のところに挨拶に行ったときに言われた言葉。「東工大のOBの方が多数運営に参加してくれて大変ありがたかったです。運営が楽しくなりましたし。」…ん??楽しく?何をやったんですかねえ…。

・トイレの手洗いは事情によりペットボトルの水の汲み置きだったけど、4Lの緑のペットボトルでした。あっ（察し）

・今年はずいに後輩の加藤哲(31期)にインカレ併設の取りまとめを頼みました。来年もぜひ後輩の誰かにお願いしたいですね。



というわけでインカレ観戦記でした。

皆の素晴らしい走り、楽しくお酒を飲む夜、リレーのハラハラドキドキの展開…やはりインカレはいいものです。別に無理して走る必要もないですし、OBの皆さんもたまにはインカレ会場に来てくれると嬉しいですな。

←インカレのロゴマーク。

外周はある漢字が敷き詰められている。

そして、赤(30%)・緑(25%)・青(20%)といえは…? つくづくあの酒もオリエンティア内で有名になったもんです。

つばめ会メーリングリスト・ホームページについて

○つばめ会 ML (メーリングリスト)

つばめ会会員間の連絡手段のひとつとして運用されております。大会情報・観戦記、同期会・飲み会の連絡、近況報告などお気軽にご利用下さい。

なお、yahoo グループのサービス終了につき、2014 度よりつばめ会 ML は freeml により運用を行っております。新しいメールアドレスは tsubamekai[at]freeml.com となります。

ご不明な点がありましたら、管理者の楠 (31 期)までご連絡ください。

また、この ML に関するホームページ (登録メンバーのみ)にて過去ログなどを閲覧することも出来ます。

<http://www.freeml.com/tsubamekai> までアクセスしてください。

○ホームページ

つばめ会および東工大 OLT のホームページが稼働中です。ぜひ御覧ください。ちなみに東工大 OLT のホームページは今年度からリニューアルされております。

・つばめ会のホームページ 管理人：長坂 (33 期)

<http://www.geocities.jp/tsubamekai/>

・東工大 OLT のホームページ

<http://olt.main.jp/>

・東工大 OLT の Twitter アカウント

https://twitter.com/titech_OLT

編集後記

皆様、こんにちは。つばめ会広報の長坂@33 期です。

簡単に自分の近況を申し上げますと、インカレに出でからなかなかトレーニングも積めておらず、オリエンにもなかなか参加できていないのが現状の中、現役側からコーチの依頼を受け、引き受けることになりました。現役のオリエンの活動への手助けが少しでも出来たらと思っています。ちなみに普段の生活については、博士進学後、特に生活の変化が無く、社会人となった同期と違って緩やかな日常を送っております。幸いにもこのような環境ですので、積極的にオリエンしていきたいと思っています。

さて、今回は僕の初の slope 編集となりました。お忙しい中原稿を執筆していただいた皆様ありがとうございました。編集に至らぬ点もあるかと思っておりますので、ご指導よろしくお願ひいたします。また、現在つばめ会ホームページの方も積極的に更新していこうと思っています。過去のデータや歴史、記録についても拡充させていく予定です。当時活動していた OB の皆様方になにのようなことがあったのかについての記事の執筆を依頼するかもしれませんので、その時にはどうかよろしくお願ひいたします。

オリエンの大会や練習会、合宿、次のつばめ会総会など、また皆様にお会いできることを楽しみにしております。

東京工業大学オリエンテーリング部 OB/OG 会 「つばめ会」会報 "Slope" 37 号

発行責任者：大嶋 拓実

編集責任者：長坂 侑亮 (yuu0tyou[at]gmail.com)

発行年月日：2016 年 6 月 11 日